



平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年9月3日

上場会社名 株式会社アマガサ 上場取引所 東
 コード番号 3070 URL <http://www.amagasa-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天笠 竜蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 鈴木 親 TEL 03-3871-0111
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績（平成27年2月1日～平成27年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	3,840	1.9	173	△11.3	170	△3.6	58	△44.6
27年1月期第2四半期	3,770	8.2	195	24.6	176	8.4	105	7.1

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 74百万円 (△27.7%) 27年1月期第2四半期 102百万円 (△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	31.33	—
27年1月期第2四半期	56.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第2四半期	6,033	2,120	35.1	1,138.09
27年1月期	5,887	2,076	35.3	1,114.33

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 2,120百万円 27年1月期 2,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,550	2.9	258	△11.2	227	△9.7	94	△25.5	50.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期2Q	1,920,000株	27年1月期	1,920,000株
② 期末自己株式数	28年1月期2Q	56,800株	27年1月期	56,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期2Q	1,863,200株	27年1月期2Q	1,863,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料については、平成27年9月11日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における婦人靴業界におきましては、円安による輸入商材のコスト増の影響や消費環境が先行き不透明な状態にあるなど、依然として厳しい状況が続いております。

こうした環境のもと、当社は、従来の方針を維持し、デザイン性を追求した高付加価値商材の積極的な投入、適正価格の維持に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高3,840百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益173百万円(同11.3%減)、経常利益170百万円(同3.6%減)、下請代金返還金62百万円を計上したことにより四半期純利益58百万円(同44.6%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(卸売事業)

卸売事業におきましては、通販事業者向け販売とアパレル顧客向け販売が前年を上回ったものの、専門店向け販売及び海外取引先向け販売が前年を下回ったことから、全体では前年同期比でマイナスとなりました。

これらの結果、卸売事業における売上高は2,549百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は446百万円(同9.0%減)となりました。

(小売事業)

小売事業におきましては、当第2四半期連結累計期間における売上高が直営店全店で前年同期比10.2%増、既存店で前年同期比2.5%増となりました。また、自社WEB販売における売上高は前年同期比14.8%増となりました。

店舗展開におきましては、JELLY BEANS町田東急ツインズ店、モラージュ菖蒲店、アルパーク広島店、イオンモール浜松志都呂店、ららぽーと富士見店の出店を行い、7月31日現在の直営店舗数は32店舗となりました。

これらの結果、小売事業における売上高は1,290百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は174百万円(同16.2%増)となりました。

(その他事業)

中国現地法人におきましては、直接輸入商材の取扱量は減少したものの、検品足数が増加したことにより、売上高は26百万円(前年同期比10.3%増)、営業損失は1百万円(前年同期は0百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,355百万円(前連結会計年度末は2,262百万円)となり、93百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加(961百万円から1,235百万円へ274百万円増)、商品在庫の増加(312百万円から367百万円へ54百万円増)及び現金及び預金の減少(962百万円から722百万円へ239百万円減)であります。

また、固定資産の残高は、3,678百万円(前連結会計年度末は3,625百万円)となり、52百万円増加しました。主な理由は、固定資産の取得による増加(144百万円増)、減価償却による減少(101百万円減)及び差入保証金の増加(39百万円増)であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,808百万円(前連結会計年度末は1,887百万円)となり、78百万円減少しました。主な理由は、未払消費税等の減少(67百万円から12百万円へ55百万円減)、仕入債務の減少(765百万円から732百万円へ32百万円減)及び1年内返済予定の長期借入金の増加(738百万円から758百万円へ20百万円増)であります。

また、固定負債の残高は、2,104百万円(前連結会計年度末は1,924百万円)となり、180百万円増加しました。主な理由は、運転資金の調達による長期借入金の増加(1,671百万円から1,801百万円へ130百万円増)、リース債務の増加(126百万円から171百万円へ44百万円増)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,120百万円(前連結会計年度末は2,076百万円)となり、44百万円増加しました。主な理由は、四半期純利益の計上58百万円による増加、配当金の支払い29百万円による減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて244百万円減少し、396百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は232百万円(前年同期は228百万円の収入)となりました。

これは主に、売上債権の増加額263百万円、たな卸資産の増加額54百万円及び法人税等の支払額49百万円に対し、税金等調整前四半期純利益102百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は91百万円(前年同期は60百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出147百万円、差入保証金の差入による支出52百万円及び有形固定資産の取得による支出46百万円に対し、定期預金の払戻による収入144百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は79百万円(前年同期は29百万円の支出)となりました。

これは、長期借入れによる収入600百万円に対し、長期借入金の返済による支出449百万円、リース債務の返済による支出41百万円及び配当金の支払額29百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年6月3日付公表「平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の数値より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	962,616	722,703
受取手形及び売掛金	961,050	1,235,545
商品及び製品	312,967	367,010
その他	26,541	31,360
貸倒引当金	△800	△1,000
流動資産合計	2,262,376	2,355,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,491,640	1,480,408
土地	1,529,346	1,529,346
その他(純額)	80,172	72,484
有形固定資産合計	3,101,159	3,082,239
無形固定資産	132,884	198,514
投資その他の資産	391,355	397,289
固定資産合計	3,625,400	3,678,044
資産合計	5,887,776	6,033,665
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	765,326	732,469
1年内返済予定の長期借入金	738,284	758,818
未払法人税等	51,590	46,914
返品調整引当金	8,900	12,400
その他	323,183	257,697
流動負債合計	1,887,285	1,808,300
固定負債		
長期借入金	1,671,096	1,801,434
退職給付に係る負債	108,643	114,114
その他	144,523	189,311
固定負債合計	1,924,263	2,104,860
負債合計	3,811,548	3,913,160

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,550,491	1,579,060
自己株式	△71,056	△71,056
株主資本合計	2,018,135	2,046,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,195	30,669
為替換算調整勘定	39,898	43,131
その他の包括利益累計額合計	58,093	73,800
純資産合計	2,076,228	2,120,504
負債純資産合計	5,887,776	6,033,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
売上高	3,770,401	3,840,161
売上原価	2,330,171	2,363,252
売上総利益	1,440,230	1,476,908
販売費及び一般管理費	1,245,086	1,303,791
営業利益	195,143	173,117
営業外収益		
受取利息	1,014	1,394
受取保険金	—	12,688
その他	5,339	3,895
営業外収益合計	6,354	17,978
営業外費用		
支払利息	18,025	15,860
その他	6,526	4,699
営業外費用合計	24,552	20,560
経常利益	176,945	170,536
特別損失		
固定資産除却損	64	—
減損損失	—	6,017
下請代金返還金	—	62,040
特別損失合計	64	68,058
税金等調整前四半期純利益	176,881	102,477
法人税等	71,491	44,098
少数株主損益調整前四半期純利益	105,390	58,379
四半期純利益	105,390	58,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	105,390	58,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,009	12,474
為替換算調整勘定	△6,861	3,233
その他の包括利益合計	△2,851	15,707
四半期包括利益	102,539	74,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,539	74,087
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	176,881	102,477
減価償却費	101,663	101,313
減損損失	—	6,017
退職給付引当金の増減額(△は減少)	995	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	5,471
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,789	635
返品調整引当金の増減額(△は減少)	3,400	3,500
受取利息及び受取配当金	△2,105	△2,408
支払利息	18,025	15,860
下請代金返還金	—	62,040
受取保険金	—	△12,688
売上債権の増減額(△は増加)	△273,028	△263,490
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31,649	△54,042
仕入債務の増減額(△は減少)	299,303	△32,857
その他	35,838	△80,091
小計	335,115	△148,261
利息及び配当金の受取額	2,105	2,408
利息の支払額	△17,868	△15,891
下請代金返還金の支払額	—	△62,040
保険金の受取額	—	39,993
法人税等の支払額	△90,806	△49,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	228,545	△232,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△142,889	△147,159
定期預金の払戻による収入	174,560	144,650
投資有価証券の取得による支出	△1,292	△1,236
有形固定資産の取得による支出	△45,649	△46,070
無形固定資産の取得による支出	△1,024	△1,739
差入保証金の回収による収入	69	13,700
差入保証金の差入による支出	△38,487	△52,120
その他	△5,727	△1,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,442	△91,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△456,202	△449,128
配当金の支払額	△29,790	△29,848
リース債務の返済による支出	△43,053	△41,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,046	79,234
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,666	489
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	137,390	△244,823
現金及び現金同等物の期首残高	348,776	641,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	486,167	396,247

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。